

2. お知らせ ……ZOOM理事役員会が1月20日開催されます

3. 自費出版事情… ~会員便り~No.37

☆ 知っとこ 愛知 ☆ その 8



□□ _____ □□

1. トピックス …

□□ _____ □□

延び延びになっていた自費出版アドバイザー講座が1月22日（金）にリアル+Web講座として開催します。
テーマは 「トラブル事例で学ぶの編集術—危機に巻き込まれないためのノウハウ集—」で、日本エディタースクールの講師などを務めた下村 昭夫氏（出版メディアパル編集長）で、編集暦59年 出版実務教育講師歴38年のベテラン編集者です。
実際に編集現場で、遭遇した様々なトラブル事例とその対処法をお話いたします。（詳細とお申し込みは添付PDFご参照）

□□ _____ □□

2. お知らせ …ZOOM理事役員会が1月20日開催されます

□□ _____ □□

理事役員会が来年1月20日（水）に開催されます。初めてのZOOM理事会です。以下、2021岐阜大会の開催可否などが審議されます。

1. 2021岐阜全国大会・総会（2021年5月14日）開催可否の件
2. 第1回2級アドバイザー試験の実施と1級受験資格について
2. 「自費出版年鑑」の制作システムの課題について
3. 入退会会員の報告と「自費出版契約ガイドライン」の申請の承認について
4. 2020年度の財政状況と予算案の変更について
5. 2021年第24回日本自費出版文化賞の日程と内容について

□□ _____ □□

6. 自費出版事情 … ~会員便り~ No.37

□□ _____ □□

サンライズ出版 岩根順子

「地方部」と称してスタート

1976年、ダイレクト製版機を導入し、タイプオフセット印刷も一段と精度が上がってきた頃のこと。
新しい市場開発を目指して自費出版を始めることにした。

地方にしながら「地方部」と称し、退職公務員連合会の機関誌に定期的

に広告出したことで、次第に仕事が集まってきた。
メールもファックスもない時代、通信手段はもっぱら手紙の交換。
ラブレターのように心まちにしていたこれらの書簡は今も大切に残っている。

お問合せから制約するまでになんせ時間がかかるので長期保管は止もう得ない。
これは今も変わらない。数年後に突然原稿が届くことは少なくはない。

それから20年後、自費出版ネットワークが誕生した。この時すでに図書コードを
取り、出版社への帰途を歩きだしていた。「県内に出版社がないから面白いことになろう」と思ったが、存在しない理由がわかったのはずっと後のこと。

本年のコロナ禍で、一層厳しい状況になったとはいえ、自身の思いや言葉を形に残したい人はまだまだ多い。
こうしたご要望をしっかりと受け止め、人々の記憶や記録を残していくことを大切にしていきたいものである。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ 愛知 ☆ その8

□□ _____ □□

知っとこ愛知

「ご存知ですか 北名古屋市」

住み慣れた名古屋市からそれまで縁のなかった北名古屋市に引っ越して
5年になります。それまで常に人の気配や車の音に囲まれて生活していたので、
家の前には田んぼ、聞こえるのはおしゃべり雀の声だけ…という生活に最初は
とまどいました。
でも住めば都、今ではすっかりこの環境が気に入って、毎日自転車で北名古屋市
を走り回っています。
今回は少しですが北名古屋市を紹介させてください。

北名古屋市は愛知県北西部にあり、人口約86,000人、東西約6km、南北約4kmの
比較的小さな市です。有名な観光スポットはありませんが、それでもここは是非！
と紹介したい場所があります。それは「昭和日常博物館」です。

図書館の3階にあり、入場無料で昭和レトロな世界にタイムスリップできます。
昔懐かしいおもちゃや家電、日用品などが所狭しと展示されています。
本当にすごい数ですよ。
昭和の町並みや家を再現したコーナーは映画「ALWAYS 三丁目の夕日」のようで、
その時代にまだ生まれてなかった私でも思わず「懐かしい」と感じてしまう世界です。
地下には当時の車やバイクも展示されていて、車好きの方は地下も必見です！
ぜひお近くにお越しの際は寄ってみてください。

昭和日常博物館 <https://www.city.kitanagoya.lg.jp/rekimin/>

次回は近隣地域のオススメスポットをしたいと思います。

株式会社マルワ 松下 朋子

★あとがき

「会員便り」は新年にふさわしい方に登場していただきました。
自費出版の歴史や作り上げる想いが分かりますね。

冒頭にもお話ししましたが、目に見えない想いや記憶を言葉にして、
本に残すことが大切な役割を果たす時代になってくるかもしれません。

文化賞の表彰式も去年は様変わりして冊子になりましたが、
その素敵な冊子のできあがりにも心がこもっていて感動しました。

今年1年、どうなるのか分かりませんが、
「風」の時代ですから、その風を追い風にして臨機応変、柔軟に
カタチを変えていきたいですね。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。